

安足地域麦類技術情報 No. 3

令和6(2024)年1月22日
安足農業振興事務所

気温が高くなる予報が出されており、麦の生育が進む可能性があります。

- 麦踏みを行いましょう。
- 雑草防除を行いましょう。
- 湿害対策を行いましょう。

1 気象経過と生育概況

- ・12月は、平年に比べて気温は1.6℃高く、降水量は平年比54%と少なく推移しました。【図1、2】
- ・播種後の気温が高く推移したことから、適期に播種したほ場の生育は平年に比べて進んでおり、茎数も多くなっています。【図3】

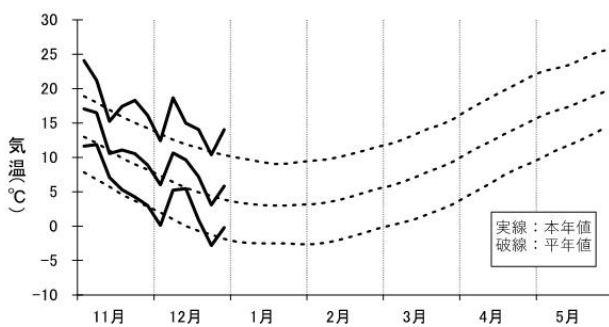


図1 半月別平均気温の推移(観測地点: 栃木県佐野市)

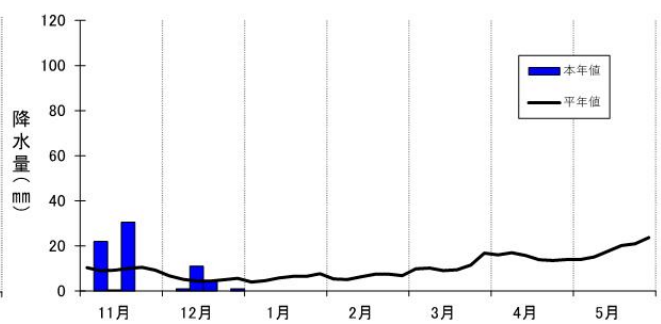


図2 半月別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県佐野市)

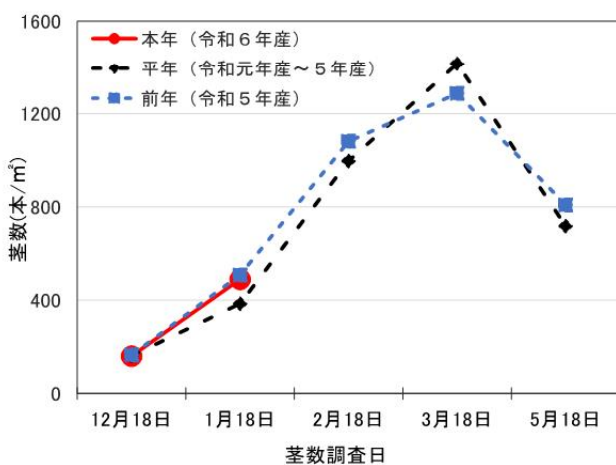


図3 茎数の推移



写真 麦の生育の様子
(1月18日撮影)

播種日: 11月20日

品種: ニューサチホコ[®]-ルテ[®]ン

2 今後の気象

- ・気象庁の1か月予報(1月18日発表)によると、向こう1か月の平均気温は「高い」確率が70%、降水量は「平年並」又は「多い」確率ともに40%という予報が出されています。【表1】

表1 関東甲信地方 1か月予報(1月20日～2月19日)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	10 20 70
		1週目 01/20～01/26	10 30 60
		2週目 01/27～02/02	10 20 70
		3～4週目 02/03～02/16	20 30 50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	20 40 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	40 30 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 今後の栽培管理について

- ・向こう1か月の気温が高い予報が出されており、麦の生育が進む可能性があります。
- ・麦の生育が進むと幼穂分化が早まり凍霜害を受ける可能性が高くなります。また、軟弱徒長してしまうことにより、春先以降の倒伏等による収量・品質の低下が心配されます。
- ・暖冬に対応した栽培管理を行いましょう。

(1) 麦踏み

- ・茎立期前(例年3月上中旬頃)までに10日から2週間の間隔を空けた麦踏みを実施しましょう。
- ・麦踏みの回数は、年明けから茎立期直前までに3回程度が目安です
- ・土壌が水分を多く含んでいる時に行うと、土が締まり湿害による根痛みを起し、生育不良に繋がります。必ず土壌が乾燥した状態で行いましょう。

麦踏みの効果

- ① 分けつを進める
- ② 根張りを良くし、耐寒性を高める
- ③ 霜柱などによる凍上害を防止する
- ④ 暖冬時、早すぎる茎立ちを抑える

(2) 雑草防除

- ・気温が高いと雑草の生育も早まります。ほ場をよく確認して雑草の発生を確認したら、除草剤の処理時期を逸さないように早めに対処しましょう。

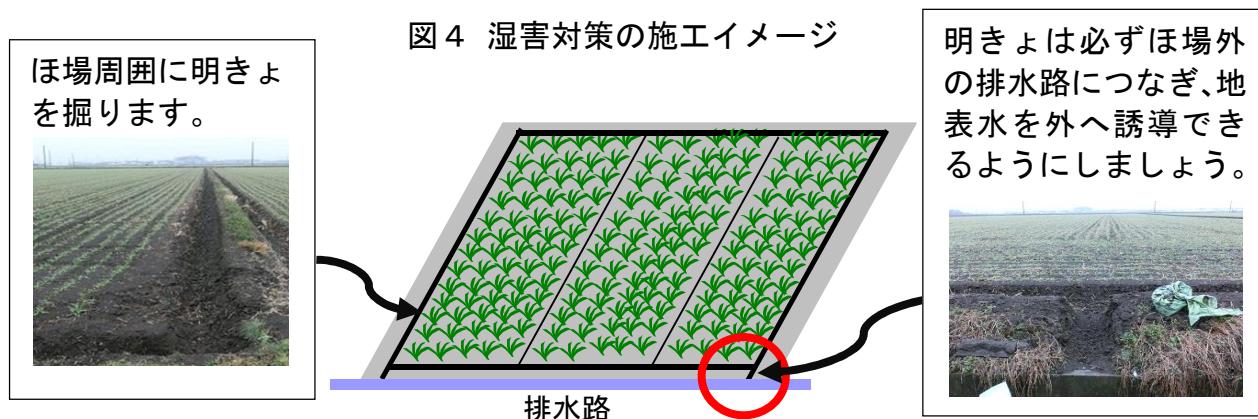
発生している雑草	除草剤名
スズメノテッポウ、一年生 広葉雑草	ハーモニー75DF 水和剤
一年生広葉雑草	エコパートフロアブル
一年生雑草(イネ科を除く)	バサグラン液剤

※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示をよく確認し、基準を守って使用してください。

※麦の生育期に除草剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が劣るので注意しましょう。

(3) 湿害対策

- ・麦は全栽培期間を通して湿害を受けやすい作物です。麦踏みで排水溝が埋もれていないか、外部の排水路としっかり連結されているかなどについて点検し、必要に応じて溝さらいを行いましょう。
- ・まだ排水溝を設置していないほ場は、今後の降雨に備えて早期に設置しましょう。【図4】



問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課

TEL: 0283-23-1431

URL: <ps://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>